

■処方せん

1 様式変更

「備考」欄を変更します。

交付年月日が平成28年3月31日までは旧様式で作成します。平成28年4月1日以降は新様式で作成します。

(1) 「備考」欄の変更

- ・残薬確認欄を追加します。
- ・「保険医署名」欄の右側（下図網掛け部分）の未使用領域を編集領域にします。

備	保険医署名 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; font-size: small;"> 「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。 </div>	(6歳)又は(高一)
	備考	
保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応（特に指示がある場合は「レ」又は「×」を記載すること。） <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ疑義照会した上で調剤 <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ情報提供		

20文字×2行

残薬確認欄追加
 備考欄を2行分割る
チェック欄は編集項目

(2) 新様式に対応したフォームファイルは以下とします。

A 5サイズ縦（QRなし）	HC02V03.red
A 5サイズ縦（QRあり）	HC02QV03.red
A 4サイズ横	HCM19V03.red

A5サイズ縦（QRなし）の見本

処方せん

(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。)

公費負担者番号						保険者番号						
公費負担医療の 受給者番号						被保険者証被保険 者手帳の記号-番号						
患 者 氏 名						保 険 医 療 機 関 の 所 在 地 及 び 名 称						
	生年月日						電 話 番 号					
者 区 分				割合		保 険 医 氏 名	④					
交 付 年 月 日						都道府県 番号		点数表 番号		医療機関 コード		
処 方 使 用 期 間	平成 年 月 日 特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること。											
処 方	変更不可 <small>【 個々の処方箋について、後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更し差し支えがあると判断した場合 には、「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。】</small>											
	備 考											
保険医署名 <small>【「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載した 場合は、署名又は記名・押印すること。】</small>												
<small>保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応（特に指示がある場合は「✓」又は「×」を記載すること。）</small> <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ疑義照会した上で調剤 <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ情報提供												
調 剤 済 年 月 日	平成 年 月 日					公費負担者番号						
保 険 所 在 地 及 び 保 険 機 関 の 名 称 保 険 医 師 氏 名						公費負担医療の 受給者番号						
④												

2 残薬確認欄の編集

処方せん備考欄に残薬確認欄が新設されました。

保険医が保険調剤薬局へ指示をする場合、「保険医療機関へ疑義照会した上で調剤」又は「保険医療機関へ情報提供」にチェックをすることができます。

以下のシステム予約マスタを会計内に入力して処方せんを発行すると該当する部分に「×」の編集を行います。

099209921	保険医療機関へ疑義照会した上で調剤
099209922	保険医療機関へ情報提供

3 湿布薬の処方に対するコメント

[記載要領より]

8 「備考」欄について

(7) 1処方につき70枚を超えて湿布薬を投与する場合は、当該湿布薬の投与が必要であると判断した趣旨を記載すること。

[点数マスタ] (新設)

830000052	70枚を超えて湿布薬を投与した理由:
-----------	--------------------

[入力方法]

(1) 1処方につき計70枚を超えて投薬する場合、理由を記載する必要があります。

①院内処方の場合 (処方せんは関係ありません)

診療種別990又は991 (レセプトコメント) を宣言してコメントコードにより入力します。

※②院外処方の場合の方法で入力されても構いません。

②院外処方の場合

「備考」欄へ記載します。

診療種別区分980 (処方せん備考) を宣言して830000052のコメントコードを剤の先頭に宣言して理由を入力します。

830000052を先頭で宣言された場合はその剤はすべて湿布薬の理由に係るコメントとして扱います。

この方法で入力された場合は処方せん「備考」欄と診療報酬明細書の「摘要」欄の両方に記載を行います。

入力コード	名称
.980	*コメント (処方せん備考)
830000052	70枚を超えて湿布薬を投与した理由: 事故の影響による全身打撲が
810000001	顕著で1回に数枚を要することから必要と判断した。

※先頭のコメントコードが830000052でない場合はレセプトへは記載しません。

※今回の改定で様式変更により「備考」欄へ出力できる文字数が少なくなっていますの

で注意が必要です。

※レセプトへの記載については4月提供のパッチで対応します。

- (2) 湿布薬の処方時は、処方せん及び診療報酬明細書に、投薬全量の他1日分の用量又は何日分に相当するかを記載する必要があります。

湿布薬を含む剤にコメントコードで用量を入力します。

※ユーザーコメント（差し込み）でマスタを作成すると便利です。

入力コード	名称
.232	*外用薬剤（院外処方）
620007813 50	【般先】ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm
810000001	湿布薬 全50枚、1日 6枚使用
001000304*1	【1日3回】

※今回の改定で様式変更により「備考」欄へ出力できる文字数が少なくなっていますので注意が必要です。

4 後発医薬品の銘柄を記載した上で変更不可とする場合

[記載要領より]

8 「備考」欄について

- (5) 処方医が、処方せんに記載した医薬品について後発医薬品に変更することに差し支えがあると判断した場合は、差し支えがあると判断した医薬品ごとに、「処方」欄中の「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載するとともに、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

なお、後発医薬品を処方する際に、「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載する場合においては、その理由を記載すること。

[入力方法]

処方時に後発医薬品の銘柄を記載した上で変更不可とする場合には、処方せん「備考」欄にその理由を記載する必要があります。

診療種別区分980（処方せん備考）を宣言してコメントコードにより理由を入力します。

入力コード	名称
.212	*内服薬剤（院外処方）
622325600 3	【般後】ロキソプロフェンナトリウム60mg錠
099209903	【後発変更不可】
Y03001*3	【1日3回毎食後に】
.980	*コメント（処方せん備考）
810000001	他の後発品を処方したところ発疹を認めたため

処方	変更不可 ×	<p>〔個々の処方薬について、後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更に差し支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。〕</p> <p>1) ロキソプロフェンナトリウム60mg錠 3錠 【1日3回毎食後に】 (3日分)</p>
	備考	<p>保険医署名</p> <p>「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。</p> <p>他の後発品を処方したところ発疹を認めたため</p> <p>保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応（特に指示がある場合は「レ」又は「×」を記載すること。）</p> <p><input type="checkbox"/> 保険医療機関へ疑義照会した上で調剤 <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ情報提供</p>

5 地域包括診療料等の算定確認のための記載

[記載要領より]

8 「備考」欄について

- (9) 地域包括診療加算若しくは認知症地域包括診療加算又は地域包括診療料若しくは認知症地域包括診療料を算定している患者について、保険薬局に対してその旨を情報提供するに当たって、処方せんへの書面の添付によらない場合には、当該加算を算定している旨を本欄に記載すること。

[記載方法]

処方せんへ記載する場合は、プログラムオプションの設定を行います。

ご使用の処方せんプログラムのオプション内容に

CHIIKI=1 (先頭の # は削除します)

を設定します。

6 院外処方せん2次元シンボル記録条件規約 Ver. 1.2 対応

「院外処方せん2次元シンボル記録条件規約 Ver. 1.2」が公開されましたので対応しました。

残薬確認欄レコードが新設されましたので、「2 残薬確認欄の編集」のとおり指示の入力をした場合に残薬確認欄レコードを記録します。

バージョンレコードのバージョン情報の記録について

残薬確認欄レコードを記録する場合は、「JAHIS3」を記録します。

残薬確認欄レコードを記録しない場合は、「JAHIS2」を記録します。

留意事項

保険調剤薬局側のシステムでは、バージョン情報をチェックしている可能性があります。